

Title	相續税批評ノ重點(一)
Author(s)	神戸, 正雄
Citation	經濟論叢 (1918), 7(1): 27-40
Issue Date	1918-07-01
URL	http://dx.doi.org/10.14989/127407
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號一第 卷七第

行發日一月七年七正大

論說

剩餘價格ノ成立……………法學博士 河上 肇

相續稅批評ノ重點……………法學博士 神戶 正雄

扶養義務力救貧籍力……………法學博士 財部 靜治

さんちかりずむ概論……………法學士 河田 嗣郎

黃宗義ノ政治經濟思想……………法學士 小島 祐馬

經濟的行爲ト道德的行爲トノ關係……………法學博士 田島 錦治

分業論シテ福田博士ノ教ヲ請フ……………文學士 高田 保馬

時事問題

小口落禁止問題……………法學博士 戸田 海市

軍需工業動員法ニ就テ……………法學士 櫛田 民藏

雜錄

英吉利ノ豫算……………法學士 河田 嗣郎

南露ニ於ケル獨逸住民……………文學士 長 壽吉

かあらいるノ「過去及ビ現在」……………文學士 石田 憲次

戰費調達問題……………法學士 小島 昌太郎

相續稅批評ノ重點 (二)

神戸 正雄

緒言 (本文ノ目的)

第一段 相續及隨テ相續稅ニ對スル純債人的見解 (一)見解ノ要旨 (二)理由 (A)給付能力原則 (B)國家ノ相續權 (C)利益原則 (D)社會政策上 (E)經濟政策上 (い)被相續人側ヨリ (ろ)相續人側ヨリ

第二段 相續及隨テ相續稅ニ對スル家族の見解 (一)親子夫婦ノ家族 (A)給付能力原則 (B)國家ノ相續權及利益原則 (C)社會政策上 (D)經濟政策上 (二)日本ノ家 (三)其他 (A)親族 (B)遺言

結論 (阿見解ノ調和)

緒言

日本デハ目下相續稅トイヘバ極メテ不重要ノ稅トナツテ居ルガ(註二)、將來ハモツト其重要ヲ増スデアラウ。又廣ク世界的ニイヘバ近世國家ニテハ到ル處ニ益々重要トナリツツアル稅トイッテ良イ。然ルニ此稅ニハ由來阿極端ノ見解ガ行ハレテ、一方ニ之ヲ以テ良稅ト爲シ、モツトモツト重ク課稅スヘシトスルノ論ガアルカト思フト、他方ニハ此ハ惡稅デアル。之ヲ廢止セヨ又ハ少クトモ極ク輕ク課稅セヨトノ説ガアリ、而シテ此二ノモノノ中間ニ立ツテ更ニ多樣ナル見解ガアル大勢ハ益々第一見解ニ向ヒツツアリト思フガ、併シ日本デハ尙ホ第二見解カ少クトモ實際立法ニ

1) Nitti, Principes de science des finances. p. 513.

ハ勢力ガアツテ、現行法ハ此ニ於テ頗ル低キ税率ヲ有テ(註二) 及ヒ非收益的動産ニ寛大ナル取扱ヲ爲ス所デアル。其等見解ノ當否ヲ研究スルハ頗ル興味アルコトデアルガ、右見解ノ據ツテ分ルル所以ガ、畢竟スルニ根本ニ於テ法律上相續ヲ何ト見ルカトイフコトト、經濟上此稅ガ財産ヲ課スルカ何ウカトイフコトトノ見方ノ異ルニ在ルカラ、隨ツテ先ツ此兩點ヲ明カニスルニヨリテ初メテ能ク夫ノ見解ノ孰レカ正當ナルカ又其カ如何ナル程度ニ於テ正當ナルカヲ定メルコトガ出來ル。デ茲ニハ暫ラク其ノ相續ノ見方ノ方面ヨリシテ相續稅研究ヲ試ミヤウト思フ。

(註一) 大正五年度相續稅收額三、九五四、六一二圓ニ過キヌ。

(註二) 最低率ハ被相續人ノ家族タル直系尊屬ノ家督相續五千圓以下ノ千分五、最高率ハ直系尊屬父ハ配偶者以外ノ遺産相續百萬圓以上ノ千分百十、

第一段 相續及隨テ相續稅ニ對スル純箇人的見解

(一) 相續稅ヲ不當トスル主要反對論ハ西洋デハ親子夫婦間ノ場合、日本デハ家督相續ノ場合ニ起ル法律上ノ反對論デアル。法律上トイフテモ其根據ハ畢竟スルニ經濟上道義上ニアルカラ、詳シクイヘバ其ハ法律上經濟上道義上ノ反對論デアル。即チ夫ノ相續ニ依ル財産移轉關係ヲ家族的ニ見ルヨリ生ズルノ反對デアル。之ニ對シテハ凡ヘテノ相續ヲ隨テ夫ノ特殊ノ相續ヲモ凡ヘテ純箇人的ニ見ルノ見解ガアル。(註三) 即チ別異人格者間ノ財産移轉關係ト見ルノデアル。此見解ヨリスレ

2) 明治三十八年一月大藏大臣訓示

3) 主稅局四十三回統計年報書

バ、凡ヘテノ場合ニ相續稅ハ正當デアリ又頗ル重ク課稅スヘキモノトナル。

(註三) 例之みる、彼ハ曰ク、財産ハ今日ハ箇人ニテ相續セラレ、家族ニテ相續サレナイ、小供ガ成長スレバ親ノ職業又ハ財産ヲ追ハナイ。若モ彼等ガ親ノ金錢上ノ方便ヲ分ツトスレバ、其ハ親ノ意思ニ於テデアルト。ゼリぐまんモ亦曰ク、國家ハ箇人ヲ見テ家族ヲ見ナイ。箇人ノ家族員ハ前ニ所得チ有タナカツタノガ、今ハ相續ニヨツテ所得チ有ツコトトナツタノデアルト。⁽⁴⁾

(二) 其ノ然ル所以ハ

(A) 先ツ之ヲ給付能力ノ觀點カラ見テモ、斯ク相續ヲ凡ヘテ別異人格者間ノ財産移轉トスルコトヲ前提トスル以上ハ、子ガ親ヨリ、妻ガ夫ヨリ相續シ又ハ所謂家督相續ニヨツテ子又ハ其他ノ何人カガ家名ヲ繼グト共ニ其ニ附イタ所ノ財産ヲ受クルトモ、其モ全ク無親族關係ノ者ヤ遠キ親族關係ノ者ガ之ヲ受ケタト齊シク、或人ガ別異ノ人カラ特ニ不勞(註四) 又ハ無償的(註五) 且ツ偶然又ハ僥倖的(註六) ニ財産ヲ受ケタト見(註七) 茲ニ大ナル給付能力アリト見ルヘキモノトナル。規則正シク入り來ルモノヤ、有償(勤勞又ハ財産ニテ) 又ハ勞働的ノモノヨリモ一層大ナル給付能力アリト見ルヘキモノデアアル(註八)。尤モ此ニ於テ僥倖又ハ偶然トイフコトハ相續人が被相續人ニ對シテ親等ノ近キホド稀薄デアリ、其遠キホド濃厚デアアルヘキデアアル(註九)。又無償トイフコトモ相續人が從來被相續人ノ經濟單位ニ屬シテ其財産ノ成形ニ貢獻シタ場合ノ如キニハ多少緩メラルルトヤフコトガアル(註一〇)。

4) Mill, Principles of political economy. B.II. Ch. II. § 3. Seligman, Essays in taxation. 8 ed. p. 134.

(註四) しやんつハ曰ク、相續ハ大ナル度ニ於テ不勞ノ性質ヲ有スルト、へつけるハ曰ク相續財産ノ收得ト共ニ、受領スル所ノ權利主體及其經濟ニトリテ此者ノ自己ノ努力ナキ財産増加ヲ表ハス所ノ財産價值ニ於ケル新流入カアル。此故ニ此ガ新租稅物體ヲ成スト⁽⁵⁾

(註五) わぐな¹ハ曰ク、相續財産ハ相續人ニトリテハ此者ニ反對給付ナシニ歸シタモノデアルト、につちハ曰ク、此税ハ相續者ニ依リ勞働ナシニ得ラレタル富ノ無償ノ移轉ヲ税スルモノデアルト⁽⁶⁾。

(註六) あだむすハ相續ハ箇人ニトリテ偶然又ハ意外ナル所得デアルトイヒ、せりぐまんハ相續ハ不規則ナル一時的ノ偶然ノ收入デアルトイフ⁽⁷⁾。

(註七) うえすさハ兩條件ヲ組合セテ、相續人ノ觀點ヨリ相續ハ彼ノ方ニテ無盡力ニナノ財産ノ不意ノ獲得デアルトイフ⁽⁸⁾。

(註八) わぐな¹ハ相續ニヨル收得ハ勞働、營業等ヨリノ正當ノ所得ヨリモ又れん²ヨリモ一層能力ノ大ナモノデアアル。隨フテ給付能力原則ニ依ツテ一層高ク課税スヘキモノデアルトイヒ、せりぐまんハ此ガ明カニ箇人ノ能力ヲ加フル。恰モ投機ヨリノ偶然利得ガ明カニ納税者ノ能力ヲ増加スルガ如クデアルトイフ⁽⁹⁾。

(註九) しえふれ¹ハ曰ク、直系界屬ニ取テハ相續財産ハ彼等ノ扶持サレタル家族財産デ、其ヲ得ルノハ彼等ガ或度マデ豫期スルヲ得タルモノデアアル。然ルニ傍系者ニハ此ガ非常ナル僥倖デアアル。又曰ク親等ノ遠クナルニ隨ツテ偶然トイフコト隨テ租稅能力ノ漸増ヲ假定スルヲ得ルト。諸他ノ學者例之らう、しえら¹、うえすさ、へつける等モ同様ノコトヲ説ク⁽¹⁰⁾。

(註一〇) ほんめるすはいむハ曰ク、從屬者ハ往々ニシテ財産(相續ノ收得及維持ニ共力シタモノデアルト、しやんつモ亦曰ク小供ト妻トハ往々ニシテ財産ノ收得ニ助力シタ。彼等ヲ今一應(相續ニ際シ)之ニツキ課税スルノハ不自然デアラウト⁽¹¹⁾。

(B) 或ハ之ヲ國家ノ相續權ヨリ説クコトモ出來ル。國家ハ各人ノ財産ノ成形ニツイテ貢獻シ、舊時ニハ家族ニ履シタル世話ヲモ爲シ、其ノ得タルモノハ之ヲ全體ノ利益ノ爲メニ使用スルノ故ニ相續財産ノ分配ニ與カツテ其一分ヲ受ルノ權利ヲ生ズル。被相續人ト相續人トノ關係ヲ別箇ノ人格

(5) Schanz, Studien zur Geschichte und Theorie der Erbschaftssteuer. (Finanz Archiv. X. VIII Jg.) S. 672. Heckel, Lehrbuch d. Fw. I. S. 422.
 (6) Wagner, Fw. 2. Aufl. II. S. 588. Nitti, l. c. p. 514.
 (7) Adams, The science of finance. p. 360. Seligman, l. c. p. 133.
 (8) West, The inheritance tax. p. 205.
 (9) Wagner, a. a. O. S. 456. Seligman, l. c. p. 134.

者ノ關係トスルコトヲ前提トスル以上ハ、假令被相續人ト親族關係アル人又ハ其特ニ愛スル人ノ相續ハ之ヲ國家全體ノ道義及經濟ノ基礎ヲ維持シ及ビ經濟及文化ノ發達ヲススルノ必要上ヨリ認ムルニセヨ(註一一)別ニ國家自ラニモ一分ノ相續權ヲ主張スルコトガ出來ル(註一二)。此見地ヨリ相續稅ニ普通ノ稅ニ於ケルガ如キ給付能力以外ノ特殊ノ根據ガ出來テ此稅ガ普通ノ稅ト異ツテ其ヨリモ遙カニ重キモノトサルルモ差支ナキコトナル(註一三)。尤モ國家ニ相續權ナシトカ、相續權ハ私的ノモノデ、租稅ハ公的ノモノ、全ク別ノ領域ノモノ故ニ此ニテ結付クルノハ不當デアルトイフ反對說モアル(註一四)。然シ國家ニ相續權アリトイヒナシトイフハ見解ノ相違ニ過キヌ之アリトシテ儲テ何ニモ租稅ガ公經濟的ノモノデアラカラトイフテ私經濟的ノモノヲ併セルコトガ出來ナイトイフコトモナカラウシ、又既ニ相續權ガ國家自身ニ生ズル以上ハ其ガ最早公共的の必要ニ基キテ、隨テ公經濟的ノモノトナツテ居ルトモ見ラルル。

(註一一) しえとるへ、吾人ノ現時ノ社會ニ於ケル私相續秩序ノ理由及目的ハ第一ニ家族ノ經濟的存在ノ維持及進捗、第二ニ國民自覺ニ於テ認メタル簡人經濟ノ經濟的意義の關係ノ標準ニヨル遺産ノ分配、第三ニ資本ノ國民經濟上最便宜有功ナル方法ニヨル使用デアルト爲シ、第一ヨリシテ通例家族ニ屬スル者即チ生殘レル夫婦特ニ妻及尙ホ非獨立ナル小供ニ、廣キ法定相續權及遺留分權ガ與ヘラルルノ要求ガ生シ、此要求ハ家族ガ吾人ノ社會的及國家的制度ノ基礎タルガ爲メニ、他ノ觀察點ニ先立ツモノト爲シ、第二ヨリ次キナル親族ヘノ相續權ガ生シ、第三ヨリ國家ノ私相續關與權ガ生ズル。ソシテ遺言自由ハ今日ノ全體ノ所有權制度ニ從テ與ヘラルルコトトナルケレトモ、右ノ三要求ヨリ制限ヲ受クルモノト爲ス。ほんめるずはいむへ今日ノ吾人ノ相續法ノ基礎ハ家族ト被相續人ノ意思トデアルトイヒ、其ノ被相續人ノ意思ノ尊重サルノハ其遺言ニヨ

- 10) Schäffle, Steuern. B. T. S. 419. 428. Rau, Grundsätze d. Fw. 5. Aufl. II. 207. Schöler, Die Reichserbschaftssteuer. S. 79. West, l. c. p. 206-7. Heckel. a. a. O. S. 422.
- 11) Hommelsheim, Die Erbschaftsabgabe. S. 30 Schanz, a. a. O. S. 673.

ル處分權利ヲ取去ルコトナレバ、同時ニ凡ヘテノ力ヲ被相續人自身ト其愛スル者トノ利益ニ於テ生産的ニ利用シ、出來ル
タケ節約ナスルトイフ最強キ刺激及最貴キ慾求ガ衰ヘル。其損害ヲ全國民經濟ガ受ルカラトイヒ、更ラニ家族關係ニ注意ス
ルノハ家族ハ箇人經濟團體トシテ凡ヘテ吾人ノ社會的國家的制度ノ基礎アルカラトイフ。しえらハ相續權ガ所有權ノ自
由ト小供ニ財產物體ヲ移サンスル親ノ自然的ノ熱望トニ基クト爲シ、此ガ絶對デナク、特ニ前有ハ全體ガ相當ト認ムル理由
ヨリ制限ヲ受クヘキモノトイフ所デアル。ぶあいふあハ法律上遺言自由ハ私有財產權ノ當然ノ結果ニ過ギナイ。生存中其
財產ノ主人タリシ各人ガ其ニツキ其死後ノコトヲ處分スルヲ得ルノハ疑ヲ容レナイ。且ツ國民經濟上ニモ各人ガ其努力ト貯
蓄トニヨツテ、其意中ノ人ノ經濟上ノ幸福ヲ與ヘ得ルコトノ確ナル場合ニ有利ナル影響ヲ生シ得ルトイヒ、尤モ此遺言ノ權
利ハ獨佛デハ家族ノ權利(遺留分ノ制度ノ如キ)ニテ制限サレ、更フニ禁止ト租稅トニテモ制限セラルル。而シテ家族ハ常
ニ國家ノ基礎トシテ、此ナクテハ秩序アル國家ヲ想像スルヲ得ヌトイフ。ばーりゆーハ死者ノ家族ヘカ其指定スル相續人ヘ
カ其財產ノ移轉ハ人類社會ノ中ニ資本ヲ増殖スル爲メ缺クヘカラサル一條件デアル。彼ノ勞働ノ結果ヲ其愛スル人ニ移ス其
見込又ハ保證ヨリハ一層多ク貯蓄スルコトヲ刺激スルモノハ他ニナイ。或ハ推定相續人ノ生産的元氣ガ彼ノ努力ナクシテ彼
ニ歸スヘキ財產ノ見込ニヨリテ減少サルコトイフモ、此觀察ハ人ノ想像スル程度ニ達シナイ。第一經驗ニ依レバ此等ノ者ノ
多數ハ閑散ナル生活ヲ爲サナイ。一般ニ其親ノ財產ヲ相續スルコトヲ待チツツ別ニ儲ケルコトヲ努メル。彼等ガ相續シタ後
デモ、其小供ノ身分ヲ一層改更スル爲メニ之ヲ増加シヤウトスル。遺産ノ見込ガ一國民中ニ眞ニ閑散ナル者ノ若干ヲ生ズル
トモ、此弊害ハ、人民ノ多數ノ中ニ其子孫ニ幸福ナル身分ヲ與フルノ正當ナル希望ヲ生シタルヘキ努力及節約ノ大ナル額ニ
比シテハ小重要ノモノデアル。更ラニ文明ノ最高キ觀察點ヨリ文學科學及藝術ノ教化ノ觀察點ヨリ、日々ノ勞働ニヨツテ其
生活費ヲ儲ルノ必要ナキ階級ノ存在ガ、大國民ニハ必要又ハ少クトモ有益デアル。此ガ國民ノ爲メニ其精神の道義的進歩ノ
一條件ト主張スルコトヲ得ル。又貧民階級自身遺産ナシデモ此ニヨリ間接ニ利益スル。何トナレバ一國民中ノ資本ノ集積ガ
彼等ニ給料ノ増加ヲ生ズルカラトイフ。尙ホにつちハ社會的便宜ノ動機ガ相續ニヨル富ノ移轉ヲ正當トスル。各人ヨリ彼等
ノ勞働ノ結果ヲ處分スル權利ヲ奪フコトニヨツテ各人ノ最有力ナル自主權ヲ破壞シ、生産ノ最強キ刺激ノ一ヲ破壊スルコトイ

フテ居ル。¹²⁾

(註二) ほんめるすはいむハ家族共同ノミナラズ國家共同モ道義經濟的デアル。變化シタル社會事情ガ國家ニ、營テ大部分家族ニノミ臨シタル任務ヲ全ク多ク歸スルコトナリ(例之教育、後見、孤兒扶養、救貧等)國家共同及其制度ガ被相續人ノ財産ノ收得及維持ニ最大ノ貢獻ヲモツ、隨テ人ガ相續權ヲ其被相續人ニ對スル道義經濟關係ノ基礎ノ上ニ、家族ニ要フルカ如クニ國家ニモ與ヘナケレバナラス。尤モ最密ナル家族範圍(直系昇屬及夫婦)内ニテハ通例道義及經濟的家族關係ガ密デアツテ、其維持ガ非常ニ重要デアリ、國家ガ此ニ對シテハ全ク讓步シナクテハナラス。此ニハ國家ノ相續權ノ餘地ガナイトイフ。しえゝるハ相續權ノ目的ノ一ガ資本ノ國民經濟上最便宜有功ナル方法ニ於ケル使用ヲ確實ニスルニ在リトイフ前提ヨリ、國家ガ、狹義家族ノ利益ノ有力ナル維持、法定相續權ヲ近キ親等ノ者ニ及ホスコト、二三ノ此等ノ者ニ遺留分ヲ許スコト、一般ニ遺言自由ノ維持ヲ充タシタル後ニ、全體ノ名ニ於テ私相續ニ干與ヲ要求スルノ權利ヲモツトイヒ、國家ガ富メル財産ヨリ稅ヲ全體ノ利益ノ爲メニ取ルトキニ、此方當該方便ノ一層良キ經濟的使用ノ豫斷ヲモツトイフヲ得ル。何トナレバ經驗ニ依レバ相續サレタル(私人ニテ)富ガ往々ニシテ國民經濟上有果的方法ニテ使用サレナイカラトイフテ居ル。尙ホうんぶえんばつはハ國家ノ相續權ヲ、家族關係ノ自然的帶ガ親等ノ遠カルニ從ヒ、愈々緩クナリ、遂ニ全國民中ニ失ハルルニ至ルコトカラ説キ、わぐなゝハ理論ガ此稅ヲ全相續法ト有機關係ニ置キ、此ニテ唯ダ國家ノ國民共同ノ最高代表者トシテノ相續部ヲ認ムトイフテ居ル。¹³⁾

(註三) しえゝるハ此稅ハ單ナル租稅トシテ辨護スルコトハ可能デナイ。此ガ濟ニ稅タルノミナラズ國家ニヨル私相續權ノ制限ト解セシムトイヒ、わぐなゝハ相續稅ハ一方ヨリ見レバ全體ノ相續制度ノ必要ナル一節トシテ現ハルル。隨フテ直接ニ固有ノ租稅トシテ現ハレナイ。其額ハ國家ガ國民ノ代表者トシテ其相續權ノ力ニヨリ、相續ニ關係スル箇人財産ヨリ受ル所ノ國民財産ニ於ケル分前ヲ表ハストイフ。¹⁴⁾

(註四) (A) ふたつハ國家ガ斯カル權利ヲ有ツトセバ、之ニツキ事物ノ性質ニ存スル標準ガナクテハナラヌ。然ルニ此ニツキ少シモ聞ク所ガナイ。立法ノ此ニツキ非常ニ異ルコトモ其存スルヲ語ラナイ。勿論社會主義者ハ此標準ヲ有ツ。即チ全部

- 12) Scheel, Erbschaftssteuern und Erbschaftsreform. S. 35. 36. 39-40. 47-8. Hommelsheim, a. a. O. S. 30. Schöler, a. a. O. S. 39-40. Pfeiffer, Die Staatseinnahmen. II. S. 310-324. Beaulieu, Traité de la science des finances. 5 éd. I. p. 510-511. Nitti, l. c. p. 515.
13) Hommelsheim, a. a. O. S. 31-3. Scheel, a. a. O. S. 47-9. Umpfenbach, Fw. S. 370. Wagner, a. a. O. S. 326.
14) Scheel, a. a. O. S. 29. 31. Wagner, a. a. O. S. 588.

トイフ。國家が相續權ヲ有ツトスレバ、此が唯一ノ論理のノモノデアル。併シ何レノ時ニ此ニ來ルヤ少クトモ不離デアル。之ニ反シ國家ハ今日專有的ノ相續權ヲ有シナイ。又ハ一部ノ相續權ヲモ有シナイ。隨フテ相續税ガ全相續制度ノ一節也トイフ主張ノ餘リニ大膽ナルコトガ確定サルル。法律制度ニ干渉シ相續ヲ規定セントスルコトハ財政學ノ問題デハナイ。財政學ハ此制度ヲ現在ノモノトシテ取ルベキデアルトイヒ、しえふれハ國家ニハ相續權ノ意義ニ於ケル斯カル權利ハナイ。人ガ課税ヲ凡ヘテノ所得及財産ニ於ケル國家ノ一般の及平等のノ分前ノ上ノ權利ト爲シテ、之ニヨリ各種租税ノ理由ヲ見出スモ相續權の意義ニ於ケル共同財産權ハ此ヨリ生ジナイ。租税ハ公共的種類ノ分前權デ私有財産權ノ破壞デハナイトイヒ、うえずミハ國家ノ相續トイフ詞ハ科學的トイフヨリハ比喩的ト見ナケレバナラス。國家ガ沒收ニヨリテ財産ヲ得ルモ相續ニヨリテハ得ナイ。相續ハ親族ヲ意味スルニ⁽¹⁵⁾近世國家ハ原始團體デハナイ。私法デハ箇人間ニ相續ガ如何ナル度マデ許サルヘキカチ定メ、公法デハ相續ガ終ル處ニ沒收ノ初マルコトヲ定ムルトイフ。⁽¹⁶⁾(B)ろつしあハ國庫ノ相續權ト相續税トノ間ハ明ニ區別スヘキモノトイフテ居ル。

(C) 或ハ斯ク國家ノ相續權トイフモノヨリデナク、租税ノ根據ヲ利益ニ置クノ前提カラ、相續ニヨリ或箇人ガ他ノ箇人ニ屬シタル財産ヲ無償且ツ偶然ニ獲得スルコトヲ許サルルノハ彼ニ取リテ大ナル利益デアル。又ハ廣ク一般ニ財産制度ニツキテ箇人カ國家ヨリ大ナル利益ヲ受ケテ居ル(註一五)。斯カル財産及相續制度ヲ定メ、且ツ之ヲ維持シテ相續者ニ利益ヲ與フル所ノ國家ハ之ガ對價ヲ要求スルコトヲ得ル(註一六)。其ガ相續税也トモイハルル。併シ此ノ如ク租税ヲ利益ノ根據ヨリ説明スルノガ既ニ誤リナルコトハ今日ハ最早公知ノコト故多クイハズトスルモ、尙ホ右ノ如キ利益保護力全ク一般的關係ノモノデ、特ニ相續ダケニ就キ切離シテ見ルコトノ出來ナイモノデ

15) Vocke, Grundzüge d. Fw. S. 121. Schäffle, a. a. O. S. 419. Westl. l. c. p. 208.

16) Roscher, System d. Fw. 5 Aufl. I S. 437.

アルトイフコトヲ注意シナケレバナラヌ(註一七)。斯ク利益ノ標準ヨリノ租税トシテ相續税ヲ見ルコトハ、其標準其モノノ不當ナルガ故ニ排斥シナケレバナラナクナルガ、併シ此標準サヘ許サルルナラバ説明ハツク。而モ此相續税ニ普通ナル財産ノ大サニ依ル累進ノ説明モツケバ、親等ノ遠近ニヨル累進ノ説明モツク(註一八)。然シ此利益標準ヨリ一步ヲ進メテ手數料的ニ國務ノ費用ヨリ之ヲ見ルナラバ、相續税ハ論理上今日普通ニ行ハルルヨリモ遙カニ輕キモノトナラナクテハナラスノミナラズ、財産ノ大サニ累進ドロコデハナク、比例トモナラナイデ、反對累進カ又ハ均一トモナリ、親等ニ依ル累進モ探レナクナル(註一九)。此カル見解ハ到底探ルコトヲ得ヌ

(註一五) 之ニツキわぐなハ全財産及相續制度ハ自明ナルモノ、國家ヨリ獨立シタルモノト見ルヘキデナク、本質的ニ國家ニテ代表サルル所ノ國民共同ノ權利制定行爲ノ產物ト見ルヘキモノデアルトイヒ、ろつしあーモ斯カル税ハ相續權ヲ國家ノ意思ノ單ナル產物トスル自然法の理解ニ近シトイフ。はーこーモ亦自然ガ人間ニ其生存期中ノミ其浮世ノ財ニ關スル力ヲ與フル。死後ニツキ之ヲ處理スル彼ノ力ハ法律ノ創造物デアルトイフ(ろつしあーニ依ル)。ほんめるすはいむハ凡ヘテノ權利所有權制度モ國家の法制ニ歸スヘキモノトイフ。せりぐまんハ相續ノ自然ノ權利ノ如キモノナシトイヒ、うえすさハ相續ハ自然ノ權利デアイトイフ。¹⁹⁾

尤モ之ニハ反對意見アリ。便宜上後ニ述ブ註三九參照

(註一六) 例之しえーらハ相續税ハ國家ガ相續權ノ制度ト共ニ簡人ニ財産成形ノ可能及能力ヲ初メテ與フルガ故ニ課徴スルノ税デアルトイヒ、ふいすちんぐハ權利交通ノ安全ノ維持及進歩ノ爲メノ國家制度ノ特段ナル利益トイフコトガ交通税ノ一般ノ理由ナリトスレバ、相續ノ安全ノ爲メノ整頓セル制度ニ於ケル高キ利益ヲ考察シテ、相續法上ノ出來事ニ課税ヲ結合ス

17) West, l. c. p. 203.

18) West, l. c. p. 203. Seligman, l. c. p. 132.

19) Wagner, a. a. O. S. 385. Roscher, a. a. O. S. 434. 437. Hommelsheim, a. a. O. S. 29. Seligman, l. c. p. 128. West, l. c. p. 201.

ルコトガ許サレナケレバナラヌトイヒ、匿名政治家ハ國家ハ凡ヘテノ一般ノ物質的利益ノ獲得保全進捗ノ爲メ、制度ヲ以テ財產取得ノ可能ニ貢獻シ、私經濟ノ所得ヲ其利益ノ爲メニ負擔セシメ、之ニヨリテ國家ノ需要ヲ充タスノ權ヲモツトイフ。²⁰⁾ 同様に考カラデハアルガ、ぼーりゆーハ特ニ之ヲ保險料ノ一種トイツテ居ル。²¹⁾

(註一七) へつけるハ保護ニ對スル賠償説ハ何モノヲモ證明シナイ。何トナレバ相續ニテハ國民經濟ノ本質的ニ私經濟的ナル組織ニ於ケル其他ノ法律關係ニ於ケルモノヨリモ異リタル國家の世話ノ對價ガ存シナイカラトイヒ、えーべるびハ相續税ヲ國家ノ特段ナル保護ノ對價ト見ルコトハ當ラナイ。何トナレバ之ヲ彼カスヘテ際限ナキ場合ノ中ニテ爲スモノニ外ナラヌカラトイヒ、ふなつけハ此保護モガ相續税ヲ反對給付トシテ理由ツケルコトハ出來ナイ。何トナレバ此等ノ行爲ハ國家ノ一般任務ノ一部ヨリハ何モノデモナイ。之ニ對シテハ特段ナル反對給付ガ可能デナク、又正當デモナイカラトイヒ、ほんめるすはいむハ相續秩序ノ規定及保護ハ租税ヲ反對給付トシテ基ケルコトハ出來シイ。何トナレハ此行爲ハ生活ノ凡ヘテノ方ニ向テルヘテノ者ノ幸福ヲ進捗スルコトニ存スル所ノ之ニ對シテ特段ナル反對給付ガ可能ナラズ又辯護スヘカラザル國家ノ一般的任务ノ一部ニ過キナイカラトイフ。獨リにつちハ少シク詞ヲ變エテ、國家ガ此相續ニツキテ爲スモノハ、國家カ相續ニツキテ爲ス所ノ特段ナル勤務ト考フル能ハザル程ノ根本的ノ義務也トイフテ居ル。²²⁾

(註一八) 遠イ親等ノ者ホド當然相續ストイフコトガイヘナクナリ隨テ國家ノ法制ノ御蔭ヲ被ムルコト多クナルト見ルチ得ルカラデアル。尤モ反對説アリ。例之ふいすちんぐハ曰ク、利益ノ標準ハ親等ニ依ラズシテ唯々相續財產ノ大サニヨリ定マルト。²³⁾

(註一九) らうハ曰ク、相續權ニ存スル利益ニ對スル課徴物トシテノ手数料デハ、親等ニ考察ガ採ラルヘカラサルモノデアルト。²⁴⁾

(D) 或ハ租税ニ社會政策的ノ意味ヲ結付ケ、分配ノ不公平、富者益々富ムノ勢ヲ矯正スルノ手段トシテ、相續ノ機會ヲ捉エテ之ニ重キ税ヲ課サウトスルノ考モ頗ル廣ク行ハレテ居ル(註二〇)。或

20) Schöler, a. a. O. S. 46. Fuisting, Grundzüge d. Steuerlehre. S. 68. Staatsmann a. D. Fw. S. 119-120.

21) Beaulieu, l. c. p. 511.

22) Heckel, a. a. O. S. 421. Eheberg, Fw. 9. Aufl. S. 310. Vocke, Fw. S. 123. Hommelsheim, a. a. O. S. 8. Nitti, l. c. p. 515.

23) Fuisting, a. a. O. S. 72.

24) Rau, a. a. O. II. S. 206-7.

ハスカル事ハ租税ノ領分ヲ超エテ居ル。租税ニ斯カル事ヲ加味スルノハ間違ツテ居ルトイフモアルガ(註二二)。併シ彼ニ此ヲ加味スルコトハ必スシモ差支ハナイ。租税モ時勢ノ變ニ伴ヒテハ段々ト給付能力ノミ保ツテ居ル譯ニ往カクナリツツアルコトヲ注意シナケレバナラス。若シモ分配ノ不公平モ差支ナシトイフナラバ其ニ及バナイガ、箇人間ニハ余リ貧富ノ懸隔ヲ生スルノハ全體上困ル。其矯正ヲ要スルトイヒ得ル。然ルトキハ之ガ矯正ヲ租税ニ結付クルモ敢テ差支ナイ。唯ダ具體的ニイフテ現在ノ日本ノ如キニテ之ヲ爲スヘキ域ニ達シテ居ルカハ斷言ヲ躊躇セサルヲ得ヌ若夫レ國家ガ斯カル分配ノ不公平ヲ矯正スルガ如キコトヲ全然行フテハナラヌトイフニ(註二二)至テハ其ハ全然間違ツタ考デアル。初メヨリオ話ニナラナイ。或ハ租税デハ夫ノ目的ヲ達スルコトガ出來ヌトモイフガ(註二三)併シ實際、多少ハ確カニ出來ル。全ク達セラレヌトイフコトハナイ。

(註二〇) うんぶんばつはハ財産分配ニ不公平が行ハレ、大ナル遺産ノ現ハルコトが通例ナレバ、此税が辯護セラルトイヒ、べらみーハ租税ノ嚴格ナル適用カ經濟的平等ノ爲メノ方法ヲ準備スル最有功ナル道具ノ一トイッテ居ル。實際ニテモ數年前ニ直系相續者ノ場合ニ法定相續及遺言相續ヲ五十萬弗ニ制限シ、他ノ場合ニハ之ヲ十萬弗ニ制限スルノ案がいりのいすノ議會ニ出テタトイフ。²⁵⁾

(註二一) ふいすちんぐハ曰ク、此ハ全ク租税ノ範圍ヲ超エタモノデアアル。現在ノ財産制度が不當也トスレバ、其ヲ變更シナケレバナラヌデアラウト。²⁶⁾

(註二二) 匿名政治家ハ曰ク、人ハ此ニヨリ異常ニ大ナル財産ノ集積ヲ妨グルトイフ理由ヲ與フルモ、此ニ價值ヲ置クコトハ出來ナイ。何トナレバ國家ハ此ニ權利モナケレバ義務モナイカラト。²⁷⁾

25) Umpfenbach. a. a. O. S. 374. West, l. c. p. 200-201.

26) Fuisting, a. a. O. S. 66.

27) Staatsmann a. D., a. a. O. S. 120

(註三) ぶあいふあーハ曰ク、大富者ハ之ニヨリテ破壊サルルデアラウ。併シ之ニヨリ下層社會ノ地位ガ相當ニ改良サルヘキヲハ他ノ問題デ、吾人ハ之ヲ疑フモノデアアル。努メナケレバナラヌノハ大財産ノ破壊デハナクテ、唯ダ下層社會ノ實質的及社會的向上デアアル。而シテ此ハ間接ノ方法ニヨツテ達セラルルコトハ出來ナクシテ唯ダ當該階級ノ上ノ直接影響ニヨリ并ニ當該階級自身ニヨリテノミ達セラルルコトガ出來ル。大富者ノ破壊ニヨリテハ何人チモ助ルコトトナラナイ。ムシロ大財産ノ慈善的效果ノ可能チモ全ク破壊スルコトトナルデアアラウト。⁽²⁸⁾

(E) 更ラニ經濟政策上ヨリシテ之ヲ見ルモ、此税ノ差支ナク且ツ得策ナル所以ノモノガアル。

(い) 先ツ之ヲ被相續人ノ經濟心理上ヨリ見テ、被相續人ノ愛スル人又ハ其ノ愛スヘキ關係ニアル人ニ向テ相續ノ行ハルル場合ニモ此税ガ課セラレテ、全部ノ財産ガ彼ニ移ラズ其一部ガ時ニ一大部ガ國家ニ移ルコトトモナレバ、被相續人ノ生存中ニ其活動及貯蓄ガ鈍ラザルカトノ懸念モアルガ、併シ所詮國家ハ其全部ヲ取ラズシテ單ニ一定割合部ヲ取ルニ止マラウカラ、其程被相續人ニ於テ或箇人が可愛トイフナラバ彼ガ一層多ク努力シテ稼ギ出シ、税ヲ拂ツタ殘額ヲ多クスルコトヲ計ルコトガ出來ル(註二四)。却ツテ此税アルガ爲メニ被相續人ノ勉強及節約ヲ刺戟スルコトニモナツテ國民經濟全體上良好ナル結果ヲ生ズル。少クトモ此税ガ大シテ勉強節約ノ妨ゲニナラヌ又本來道義上ヨリ見レバ箇人主義ノ下デモ、其箇人モ國家ヲ無視スルコトハ出來ズ、箇人ハ國家ノ下ノ箇人ユヘ、彼ガ或人ヲ愛スルト齊シク又其ヨリモヨリ以上ニ國家ヲ愛スヘキ筈デアル。其獲得集積シタル財産ノ一部ヲ國家ニ貢獻スルコトハムシロ其ノ大ニ満足スヘキ所デアリ。其多々

益々大ナランガ爲メニ努ムヘキ筈ノモノデアル。今一ツ被相続人トシテ考フヘキコトハ、其ノ國家ニ供シタルモノハ、何レ全體上有益ニ使用サルノ傾ガ大イノニ、小供其他ノ箇人ニ餘リニ多クヲ殘ストイフト、却ツテ彼等ノ眞ノ幸福ヲ齎ラサナイ傾ガアルトイフコトデアル。全ク無一物ヲ遺ストイフノモ小供等ノ不幸デアラウガ、相當以上ノ大額ヲ殘スノハ考物デアル。此事ヲモ各人ガ相續ニツキテ能ク考ヘナケレバナラス。感情的デナク理性的ニ考ヘナクテハナラス。又此事ガ段々ト各人ニ明ニモナラウト思フ(註二五)。

(註二四) わぐな一ハ適度ナル相續稅デハ、最近親等間ノ相續ニテモ又一部ハ恰モ此ニ於テムシロ貯蓄ヲ進メルコトガ假定セラルル。——相續稅ハ一層大ナル貯蓄ニ向ハシムル。何トナレハ被相続人タル家長ハ其貯蓄努力ニ於テ此稅ノ補償ヲ眼中ニ置クカラトイヒ、ばりゆーモ或財產ヲ殘ス所ノ箇人ハ其ガ相續稅ヲ課セラルルコトヲ知ルノ故ニ、相續人ガ之ニヨリ困ラザル爲メニ、貯蓄ヲ爲スヘキ附加的ノ動機ヲ有ストイフ。うえずこハ一步ヲ進メテ曰ク、此稅ガ勉強及節約ヲ衰ヘシメ、資本ヲ驅逐スヘシトノ非難ハ眞實ノ處、殆ント他ノ孰レノ稅ヨリモ當ラナイ。死ハ通例違キ後ノコトト見ラレ、人ノ心ニ重要ナル地位ヲ占メナイ。若モ人ガ其相續人ニ殘ス爲メニ財產ヲ蓄フルノ意向ヲ有スルトセバ、彼ノ盡力ハ貯蓄物ノ一又ハ二倍ニせん²⁹⁾ガ國家ニ取ラレナケレバナラストイフ考ノ爲メニ減少スルヨリハ寧ロ増加スルデアラウ。相續稅ハ所得稅ヨリモ勉強ヲ壓迫スルコトガ少ク財產稅ヨリモ節約ヲ抑ユルコトガ少イト²⁹⁾。

(註二五) あんごる一ガいれざ一ハ曰ク、何故二人ガ其小供ニ大ナル財產ヲ遺サウトスルカ。此ガ愛情ヨリ爲サルナラバ此ハ誤リタル愛情デハナイカ。觀察ガ次ノ事ヲ教ユル。概言シテ此ガ小供ノ爲メ幸福デナイ。彼等ハ之ガ爲メニ負擔ヲ負フコトニナル。此ガ國家ノ爲メニ莫クナイ。妻ト娘トノ爲メニ所得ノ適當ナル源ヲ備ヘ、息子ノ爲メニ頗ル適度ナル餘裕ヲ備ヘタ以上ニハ躊躇スヘキモノデアル。何トナレバ遺言ニテ殘サレタル大ナル額ガ往々ニシテ受領者ノ幸福ヨリハ、一層多ク損害ヲ爲スコトガ爭フコトヲ得ナイカラト³⁰⁾。

(ろ)之ヲ相續人ノ側ヨリ見ルモ、其ガ被相續人ノ家族デアリ非獨立經濟能力ノ者ナラバ兎ニ角デ

29) Wagner, a. a. O. S. 326. 590. Parieu, Traité des impôt. 2 éd III. p. 140.
West, l. c. p. 212.
30) West, l. c. p. 198.

アルガ、其ガ事實上被相續人ヨリモ別ノ家ニ住ヒ獨立ノ經濟能力アルモノデアルト、其相續財産ガ明カニ給付能力ノ増加ニナルノハ勿論(註二六)、餘分ノモノノ流入トイフノデ多少其ヲ濫費スルコトニナル傾ガアル。其ニ課税スルノハ恰モ多少ナリトモ之ヲ抑制スル所以デアリ、且ツ一般ニ相續ニ税ガカカレバ苟クモ相續人ニ獨立能力アル以上ハ彼自ラモ多少一層努力シテ其ヲ産ミ出サウトイフ考ニモナリ得ル。大體人ハ努メテ自己ノ力ヲ以テ自己ノ生活ヲ遂ゲ自己ノ幸福ヲ進ムヘキ心掛ヲ持ツヘキモノデ、父又ハ其他ノ人々ノ御蔭ヲ受ルコトガ少キヤウニスヘキモノデアル。非獨立能力ノ者ハ致方モナカラウシ、家ニツイタ財産ヲ受ルトイヘバ特別ノ意味モアラウガ。其他ノ場合ニハ(ソシテ相續デハ相續人ニ獨立能力アル場合ガ多カラウガ(註二七))出來ルタケ此精神ヲ發揮スヘキモノデアル。其ガ其身ノ眞ノ幸福ヲ進ムル所以デアリ、又國民經濟全體ノ發達ヲ進ムル所以デモアル。他人ヨリ相續ニテ入り來ル財産ニ課税シテ之ヲ減少スルコトハ此精神ト矛盾セズ、却ツテ之ト調和シ、各人ニ善良ナル心掛ヲ起サシムル所以デアル。

(註二六) あだむすみずハ曰ク、羅馬法ノ詞ニテ解放サレタル小供、蘇國法ノ詞ニテ *foris-familiated* トイハルル小供、即チ既ニ分前チ受ケ其自ラノ家族チ作り、別ノ資源ニテ維持サレ、父トハ獨立ナルモノニ在テハ別デアル。斯カル小供ニ來ル所ノ相續財産ハ其財産ヘノ眞ノ増加トナラウ。隨ツテ此ニハ恐ラクハ此種ノ凡ヘテノ税ニ件フヨリモ一層大ナル不便ナクシテ課セラルルチ得ルト。うえずこモ亦曰ク、財産ガ自ラ扶助スル(獨立自營ノ)丁年ノ小供ニテ相續サル場合ニハ納税力ノ明ナル増加ガアルト。ゼリぐまんモ亦同様ノコトナイフ。曰ク相續財産ガ自立ノ直接相續人ニ行クトキハ此ニ租税チ拂フ力ノ決定的増加ガアルト。³¹⁾

(註二七) ぼーリーのハ曰ク、死(相續チ引起スガ如キ)ハ自然通例老死者ニ生ジ、相續人ハ大部分成年ニ達シタ者デアルト。³²⁾

31) Adam-Smith, *Wealth of Nations*. B. V. Ch. II. Appendix to Art. I & II. West, l. c. p. 206-7. Seligman, l. c. p. 134.
 32) Beaulieu, l. c. p. 514.